



## 高齢者の摂食嚥下障害支援研修

介護報酬では、自分の口から食べる楽しみを得られるよう多職種による支援の充実を図ることを目的とした加算が設定されており、専門職による食事の観察及び会議等が加算算定の要件となりました。

口から食べることは、生きる喜びであり、生活の質に大きく影響を及ぼします。高齢者の食の問題である摂食嚥下機能障害に焦点をあて、対象者の特性に合わせた的確なケア・リハビリを実施するため、多職種やチームによる包括的介入について学ぶとともに、将来リーダーとしての役割が発揮できるよう、必要な知識・技術を習得します。

<開催日> 平成31年1月11日(金)～2月20日(水) 全5日間

<会場> 神奈川県立保健福祉大学 実践教育センター (相鉄二俣川駅)

<申込期間> 平成30年11月1日(木)～11月17日(土) 消印有効

<受講資格> 高齢者介護に関わっている保健・医療・福祉分野の従事者で、摂食嚥下の対応について課題を持っており、5日間すべてに出席できる方。

<受講決定> 12月上旬に通知します。

<募集人員> 40名程度

<受講経費> 10,000円(税込) ※納入方法は受講決定通知でお知らせします。

～詳細は、当センターのホームページをご覧ください～

<http://jissen.kuhs.ac.jp>

<問合せ先>

神奈川県立保健福祉大学  
実践教育センター 実践教育部 宮島、山田  
電話 (045)366-5871



**【予告】平成31年度は開催時期が6月前後に変更となります。申込みは4月頃の予定です。**

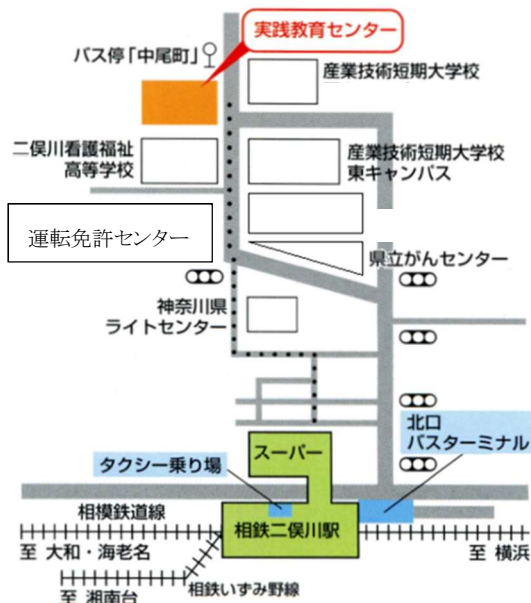
【開催日程・内容】

回	月日	時間	内 容
1	1/11 (金)	8:50~9:00	開講 オリエンテーション
		9:00~12:15	摂食嚥下機能のメカニズム ・捕食と咀嚼 ・咽頭への送り込み、咽頭通過、食道通過など ・事例から見たメカニズム
		13:15~14:45	摂食嚥下障害者への口腔ケア —急性期医療から在宅での口腔ケアの実際—
		15:00~16:30	摂食嚥下障害者への基礎的アプローチ グループディスカッション
2	1/18 (金)	9:00~12:15	摂食嚥下障害を有する人へのリスク管理
		13:15~16:30	摂食嚥下障害者への栄養管理と食事の対応
3	1/24 (木)	9:00~12:15	口腔ケアと食事援助の実際（演習）
		13:15~16:30	
4	2/6 (水)	9:00~12:15	演習 課題（事例）検討 （グループで持ち寄った事例を検討）
		13:15~14:45	
		15:00~16:30	
5	2/20 (水)	9:00~12:15	演習 課題（事例）検討 発表準備
		13:15~16:30	課題検討発表会 講評（※各所属の職場関係者の参加があります）
		16:30~17:00	閉講（修了証書授与）

※課題検討の時間は、受講者から提出された事例を元にグループで検討を行います。

※参考図書は受講決定通知でご案内します。

※内容・講師が変更になる場合があります。



【交通案内】

相鉄線「二俣川」駅下車  
北口から徒歩 20 分  
または北口バスターミナル①番乗り場から相鉄バス「運転免許センター循環」でバス停「中尾町」下車徒歩 2 分  
※ 敷地内に一般の駐車場はありませんので、公共交通機関でお越しください。ただし、身体の不自由な方等で車でのご来校が必要な場合は、事前にご連絡ください。